

議会広報

第29号

2013.4.25

おみたま

「さくらフェス」桜も見ごろ！



3
月
定
例
会

新年度当初予算決まり、新規事業始まる！	P 2
予算特別委員会・各常任委員会 Q & A	P 3-7
議案の審議結果 (48件)	P 8
集客力の多い(仮称)「空の駅」を(一般質問)	P 9-17
研修視察報告、プレゼントクイズ、市民の声ほか	P 18-20

「小美玉さくらフェスティバル2013」(4月6日、四季の里芝生広場にて)

平成 25 年 第 1 回 定例会

平成 25 年度当初予算など 48 議案を審議

H25 当初予算総額 349 億 5,200 万円

前年比 13 億 5,539 万円・4.0% 増

当初予算?・・・新年度が始まる前に、年度内(4月から翌年3月末まで)における収入と支出を見積ったもの。予算を成立させるためには議会の決定が必要となる。

一般会計		歳入主なもの			
財源別	予算額		前年度比較		
	金額	構成	金額	増減率	
自主財源	76 億 4,472	34.8	8 億 9,308	13.2	
市 税	57 億 5,766	26.2	5,634	1.0	
繰入金ほか	18 億 8,706	8.6	8 億 3,674	12.2	
依存財源	143 億 2,528	65.2	5 億 8,104	4.2	
地方交付税	45 億 0,000	20.5	△ 4,000	△ 0.9	
国県支出金	48 億 5,025	22.1	△ 8,925	△ 1.8	
市 債	37 億 2,290	16.9	7 億 7,960	26.5	
地方譲与税	3 億 976	1.4	△ 768	△ 2.4	
交付金	9 億 4,237	4.3	△ 6,161	△ 6.1	
歳入計	219 億 7,000	100	14 億 7,412	7.2	

一般会計		歳出主なもの			
財源別	予算額		前年度比較		
	金額	構成	金額	増減率	
義務的経費	95 億 3,501	43.4	3 億 47	3.3	
人件費	40 億 3,906	18.4	921	0.2	
扶助費	37 億 6,027	17.1	1 億 4,447	4.0	
公債費	17 億 3,567	7.9	1 億 4,679	9.2	
投資的経費	41 億 6,286	18.9	1 億 2,103	3.0	
普通建設費	41 億 6,286	18.9	1 億 2,103	3.0	
その他経費	82 億 7,213	37.7	10 億 5,262	14.6	
物件費	26 億 72	11.8	1 億 9,353	8.0	
補助費等	25 億 6,311	11.7	2 億 721	8.8	
繰出金	22 億 1,492	10.1	1 億 2,413	5.9	
歳出計	219 億 7,000	100	14 億 7,412	7.2	

全 10 会計				予算額		前年度比較	
会計別				金額	増減率	金額	増減率
一般会計							
特別会計	国民健康保険(事業)			58 億 8,622	8,897	1.5	
	国民健康保険(直診)			1 億 5,706	△ 1,762	△ 10.1	
	後期高齢者医療保険			3 億 9,913	2,217	5.9	
	介護保険(事業)			29 億 4,894	1 億 1,112	3.9	
	介護保険(サービス)			301	0	0	
	下水道			18 億 12	△ 950	△ 0.5	
	農業集落排水			3 億 2,309	△ 8,581	△ 21.0	
	戸別浄化槽			7,684	260	3.5	
	霊園			1,326	7	0.5	
	企業会計	水道	収益	収入	7 億 4,636	170	0.2
支出				7 億 1,954	△ 1,272	△ 1.7	
水道		資本	収入	1 億 3,115	△ 3 億 4,871	△ 72.7	
			支出	3 億 2,791	△ 3 億 2,754	△ 50.0	
病院		収益	収入	3 億 873	9,906	47.2	
			支出	3 億 98	9,899	49.0	
病院		資本	収入	—	—	—	
			支出	2,585	1,053	68.8	
歳入(収入)計				347 億 6,396	13 億 3,817	4.0	
歳出(支出)計				349 億 5,200	13 億 5,539	4.0	

(単位：万円・%、構成・増減率：△：減、小数点第 2 位を四捨五入)

● 主な新規事業

- 合併振興基金の造成
- 公共交通ネットワークシステムの整備
- 救助工作車更新事業
- (仮称) 宮田防災公園整備事業
- (仮称) 空の駅管理運営事業
- 玉里運動公園整備事業

※次ページより、防災公園、空の駅、大井戸湖岸公園の(仮称)を省略。



今年度、更新される救助工作車(美野里消防署)

平成 25 年度の当初予算を審査

予算特別委員会 Q & A

平成 25 年の第 1 回定例会が 3 月 4 日から 25 日までの 22 日間の会期で開かれ、平成 25 年度の当初予算を中心に 48 件の議案について審議しました（審議結果 8 ページ）。

その中で、25 年度の当初予算（全 10 会計）を審査するため、予算特別委員会を設置し、3 月 8 日、11 日の 2 日間にわたり、同委員会を開催しました。委員会での主な質疑応答の内容についてお知らせします。



全議員で構成される予算特別委員会

市政全般・市民生活・消防

借入金・交付金 25 年度の状況は

Q. 25 年度一般会計の一時借入金の最高額（限度額）が 10 億から 20 億に増額された理由は？

A. 積極型の予算を計上したことによる一時的な収入の不足に対応するため。

Q. 25 年度歳入の国有資産等所在市町村交付金のうち防衛省分が 28 億 67 千円減額されているが、その理由は？

A. 自衛隊が関係している住宅（雷神官舎、野田官舎、下吉影官舎）等及び住宅の土地に対して交付されるもので、建物については償却が進んでおり、価格の下落等により算定の価格が下がったことによるもの（積算は防衛省が行っている）。

Q. 本市で借入予定の合併特例債 135 億円の現在の借入状況は？

A. 24 年度末で借入れの同意を得ているのが 74 億 8,540 万円。25 年度の借入れ予定額が 26 億 8,110 万円。25 年度借入れのうち合併振興基金造成のための借入れ

が 6 億 6,500 万円あり、その分を除くと、25 年度の借入れは 20 億 1,610 万円。24 年度借入れ額と 25 年度借入れ予定額の合計は 95 億 150 万円となる見込み。

公共交通ネットワークシステム

Q. 新規事業の合併特例推進事業の目的は？

A. 子どもから高齢者まで、全ての人が気軽に楽しく外出できる社会の実現に向けた公共交通ネットワークシステムの構築を目指すもので、超高齢社会の到来に伴う移動手段の確保を図る。

Q. 25 年度事業の概要は？

A. 試験的な巡回バスの運行と、その検証調査事業を行う。

Q. これまでの法定協議で決まったことは？

A. 小型バス 2 台で、市内を巡回し、平日のみの運行で、1 日 6 便と決定している。利用料金は、1 乗者 200 円。1 日フリー券 500 円。割引は 65 歳以上、障がい者と介助者、学生以下が半額となる。

合併振興基金？・・・合併後の市町村が、地域住民の連携強化又は、地域振興を目的に設ける基金のこと。本市では、今後 3 年間、毎年約 7 億円を積立て、合計約 21 億円の積立てを予定している。

総合型地域スポーツクラブ?・・・幅広い世代の人々が各自の興味関心、競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブ。

Q. 実証運行の開始時期と期間は?

A. 再度、地域公共交通会議を開催し、バス停の設置、運行事業者を決定し、早くても10月ごろになる予定。実証運行期間は3年間を予定している。ただし、利用状況やアンケート調査の結果しだいでは、その限りではない。

消防資器材の交換

Q. 各地区に設置されている消火栓ホースの交換はどの程度進んでいるのか?

A. 調査をしたところ古いホースが850本程度あり、23年度から毎年120本ずつ古い消火栓ホースの交換を行い、現在240本の交換が済んでいる。

Q. 万が一のことを考え、予算を一括して取り、全ての消火栓ホースを一年で交換できるようにできないか?

A. 決められた予算でやっているのですが、今後も計画的に交換を進めていくのでご理解いただきたい。
○なるべく全ての交換が早く終わるように計画していただきたい。

Q. 自衛消防の数は?

A. 美野里地区に29ある。

Q. 小川地区の上合と佐才にも自衛消防があり、現在、地域振興課所管で補助を受け、資器材は一切補助がない状況にある。同じ自衛消防なのに美野里地区の29の自衛消防と同じように消防署から運営補助が受けられないのか?

A. 地域振興課と協議し、一本化を進めていく。

Q. 自衛消防運営補助事業費で自衛消防団の資器材の購入はできるのか?

A. 要請があれば補助の対象になる。古いもので各地区の区長から申請があったものから補助対象としている。



太陽光発電システム補助 昨年度の2倍の当初予算を計上

Q. 今年度、太陽光発電システム補助金が600万円と昨年の2倍になっているが?

A. 24年度は、1kw.当たり3万円(上限10万円)の30件分を予算計上したが、申請件数が多かったため補正で対応した。25年度は60件分を計上した。

Q. さらに申請が多い場合は?

A. 実状に合わせて検討する。

男女共同参画について

Q. 男女共同参画を推進する予算が非常に少ない。男女参画のしつかりとした方針の中で、職員を配置し、経費を増やしていただきたい。女性の課長をもっと増やしていただきたい。

A. 予算イコール取り組み姿勢ではないので、ご理解いただきたい。女性の管理職への参画についても十分に検討していく。

教育・福祉・医療

希望ヶ丘公園リフレッシュ シユ工事

Q. 希望ヶ丘公園リフレッシュ工事の内容は?

A. 老朽化した遊具の撤去・新設と同時に、設置場所を移動する。

Q. グランドの水はけが悪いが、その改修は?

A. 国の事業を活用しているため、今回のリフレッシュ工事には含めることができない。今後、予算を確保しながら進めていく。

NPO法人小美玉スポーツ クラブの活動

Q. 総合型地域スポーツクラブと市が連携して実施する事業は?

A. これまで市主催で実施していた「プレすぽ〜つ教室」「ヨガ教室」など6教室を、25年度は、総合型地域スポーツクラブが、対象者や実施場所を増やすなどさらに拡充した形で開催する。また、中学校の部活動への講師派遣を予定している。

Q 外出支援サービス事業の内

外出支援サービス事業
(タクシー券配付)



目指せ！なでしこジャパン

Q 小美玉フットボールアカデミーの現況は？

A 4月に、「地元を愛し、地元で愛される選手の育成」を目的として、中学生年代の女子を対象とした全寮制の女子サッカースクールを開校する。アカデミーへの入校募集の結果、13名の入校予定者のうち9名が寄宿生活となる。残り4名は、週末のみ寄宿し、平日は通いで練習に参加することになる。

容は？

A タクシー券（初乗り運賃・年24回分）を交付するもの。平成25年度から、サービス利用対象者を拡大する。1人暮らし高齢者などに限定せず、運転免許証をもっていない70歳以上の方なども対象とし、目的も自由に選定できる。

こころの体温計

Q 平成25年新規事業の「こころの体温計」とは？

A 簡単にメンタルヘルスチェックができる機能。市のホームページや携帯電話でアクセスして、質問に答えながら本人や家族のこころの健康診断ができるもの。

Q こころの問題を抱えている方に対する市としてのケアは？

A 市内3カ所の保健センターにおいて、定期的に「こころの健康相談」等の事業を実施している。その他、県等とも連携し対応していく。

スクールソーシャルワーカー増員

Q スクールソーシャルワーカー

の業務内容と配置状況は？

A 不登校や引きこもり、いじめ問題など、問題を抱える子どもたちやその保護者の相談にのり、改善していくもの。現在は、1名が週2回各学校及び幼稚園を訪問しているが、相談内容が複雑化し、件数も増えているため、25年度は1名増員して対応する。

都市建設・産業経済

秋には見事なコスモスを

Q 花の香る里づくり事業費が減額されているが、その理由は？

A 土壌の復元工事が3年目になり、有識者と相談して肥料を減量したことによるもの。

「空の駅」整備事業

Q 「空の駅」建設により、茨城空港ビルとの競合や周辺商業施設への影響はないのか？

A 「空の駅」は地域再生の拠点づくりであり、その趣旨を貫く。茨城空港と空の駅の調整について

は、空港ビルを運営している県開発公社とも調整をしながら競合することがないように、それぞれの趣旨、目的を明確にするなど連携し合い、交流人口を増やしていく。

「大井戸湖岸公園」整備事業

Q 「大井戸湖岸公園」の完成予定時期は？また、正式名称はどのように決めるのか？

A 平成25年度末の完成を目指している。名称については、地区の方、あるいは市民公募等々も考えられるが、まずは地元で相談をかけた、年度内には決めていきたいと考えている。

再編交付金事業

Q 再編交付金事業の防犯灯設置工事にLEDを取り入れては？

A 防犯灯の設置は、平成19年度からの合計で960基を設置した。その内、平成24年度は81基で、全てLEDを使用している。

委員会 Q & A

各委員会で付託された 35 議案を審査

本会議で付託された 35 件の議案について、3月13日から15日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

将来の交付税減額等に備え「合併振興基金」を設置

Q. この基金の用途は？

A. 市民の連帯強化を目的としては、ふるさとふれあいまつり、産業祭、文化祭、体育祭、市民の日等のイベント事業や各行政区で行う敬老会への助成など。また、地域の振興を目的としては、公共交通バスの運行事業、地域のコミュニ

ティ活動や自治会活動の助成費用、商店街の活性化、花いっぱい運動、環境保全美化運動、交通安全対策や防犯対策、消防団活動への助成等にこの基金を充当できると考えている。

Q. 合併当初から、合併特例債が基金として活用ができたのに、今ごろになぜ設置するのか？

A. 平成18年度末に、合併特例債を活用した基金のうち、償還が終わった分の元金を取り崩してソフト事業に充当できるようになり、基金が活用しやすくなった。また、平成28年度から地方交付税の減額が予定されることから、基金を設置するものがある。

文教福祉

災害見舞金等支給条例を制定

Q. 新たに制定する災害見舞金等支給条例の内容は。

A. 大きな災害の場合は、被災者生活再建支援法や市の災害弔慰金の支給等に関する条例により見舞金等が支払われるが、当条例は、これらの適用を受けない小規模の風水害、震

災、火災等の災害により被害を受けた市民に対し見舞金等を支給するもの。例えば、火災で居住する家屋が全焼した場合は、1世帯10万円を支給するなど、詳細な規定が定められている。

竹原小学校改築工事スケジュール

Q. 竹原小学校の改築工事が始まると思うが、今後のスケジュールは。

A. 平成27年2月完成を目標に、今年6月から7月にかけてプールの解体を行う。その後、仮設校舎を建設し、現校舎を解体してその跡へ新校舎を建てる計画を進めている。

Q. 新築する校舎の概要は。

A. 構造は、鉄筋コンクリート3階建て。各学年2クラス分の教室数と、特別教室を確保し、さらに太陽光発電を設置する予定で進めている。

小美玉医療センターの指定管理者「古宿会」に移行

Q. 指定管理者の引継ぎが発生するが、中でも入院患者等の引継ぎはどうなるのか。

A. 引継ぎについては、旧管理者「幕



国道6号沿い 花だんの植栽作業
(竹原地区コミュニティ)

茨城空港テクノパーク?・・・「茨城空港」と隣接している37ヘクタールの準工業地域(予定)で、茨城県と小美玉市が協力して企業誘致活動を行っている。



新たな管理体制で (小美玉医療センター)

産業建設

「空の駅」整備事業関連

内会」と、新管理者「古宿会」及び市で十分に協議検討した。3月31日に新旧指定管理者の引継ぎ並びに医療機器の入替えを行うため、医療行為が行えない状態になる。外来患者は、日曜日で休診のため問題ないが、入院患者は、医療行為ができない中で入院していることに問題があり、転院していただくことなどをお願いしている。3月31日には入院患者数をゼロにして次期指定管理者に引き継ぐことになる。

○入院患者の意向を一番に尊重し、不安を与えないよう、スムーズな移行をお願いする。

Q. 乳製品加工施設の設置及び管理に関する条例に、施設使用料の減額基準、増額基準が定められているが、幅をもたせる理由は?

A. 使用者の営業努力等で収益の増収、減収になった場合には基本料金の変更はない。BSE問題・鳥インフルエンザ問題等の環境の変化による減収や、予定集客数を大幅に上回るなどの理由による増収等、あくまで使用者側に責がない部分での収益増減時の対応として規定している。

Q. 地域再生拠点施設設置及び管理に関する条例の、各施設の月額使用料は妥当か?

A. 全体事業費、補助金、耐用年数、施設面積等により算出し、妥当な金額と考えている。

Q. 利用者のために年々年末始も開業したほうが良いのでは?

A. 今後、使用者と話し合い決めていきたい。

Q. 「空の駅」オープンを一度延期しているが、今回締結する工事請負契約の工期は大丈夫か?

A. 工程管理、工事管理を徹底し、契約工期11カ月内の完成に努める。

Q. 建築工事の第1回目の入札が不調になった理由は?

A. 第1回目の入札の参加申込みが2社だったため、入札を取りやめた。申込みが少なかった理由は、企業が利益率の高い工事を選択して応札に臨んでいることや、技術者削減等のため受注する工事を選んでいることが考えられる。

Q. 建築工事を地元業者育成のために分割発注すべきだったのでは?

A. 今回、「空の駅」建築工事を一括発注した理由は、施工管理や経費の面で有利性があるため。今後の外構工事、交差点改良工事、植栽等は地元業者をお願いしていきたいと考えている。

広域幹線道路の進捗状況

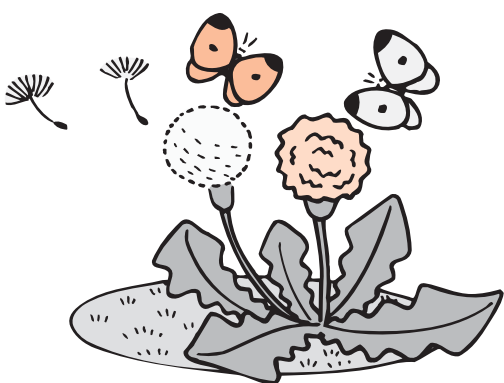
Q. 栗又四ヶ線の用地買収進捗状況は?

A. 地権者38名のうち29名の方と契約をいただいている。面積ベースで81・8%の確保状況となっている。

企業誘致

Q. 茨城空港テクノパークの状況は?

A. 県の開発事業である茨城空港テクノパークは、本市においても全国の企業に対してアンケート調査を行うなど誘致活動を行っている。アンケートの結果では13社が興味を示しているため、今後も県と協力し誘致活動を進めていく。



第1回定例会 審議結果等一覧 (全48件)

No	議案等名 内容	結果	委員会審査
■ 条例の制定 (13件)・改正 (8件)			
1	災害見舞金等支給条例 ～他条例の適用を受けない小規模災害の被災者等に見舞金等を支給～	◎	文 ◎
2	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	◎	文 ◎
3	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	◎	文 ◎
4	新型インフルエンザ等対策本部条例	◎	文 ◎
5	道路構造条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
6	道路移動等円滑化基準条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
7	特定公園施設移動等円滑化基準条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
8	公共下水道構造条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
9	準用河川における河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
10	市道に設置する道路標識の寸法等に関する条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
11	布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
12	乳製品加工施設の設置及び管理に関する条例 ～「空の駅」整備事業に伴う施設の設置及び管理条例を制定するもの～	○	産 ◎
13	地域再生拠点施設の設置及び管理に関する条例 ～「空の駅」整備事業に伴う施設の設置及び管理条例を制定するもの～	○	産 ◎
14	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ～常態的に勤務する非常勤特別職員に対し、通勤費用相当分の費用弁償をすることができるもの。また、新たに設置する法制アドバイザーの報酬を定めるもの～	◎	総 ◎
15	選挙公報発行条例の一部を改正する条例 ～選挙公報の配布を効率的に行うため改正するもの～	◎	総 ◎
16	産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	◎	産 ◎
17	市営住宅管理条例の一部を改正する条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
18	都市公園条例の一部を改正する条例 ～関係法の一部改正に伴うもの～	◎	産 ◎
19	障害者介護認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例 ～法律名の改正によるもの～	◎	文 ◎
20	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 ～法令の一部改正に伴うもの～	◎	文 ◎
21	基金条例の一部を改正する条例 ～合併振興等に係る基金を設置するため～	◎	総 ◎

No	議案等名 内容	結果	委員会審査
■ 24年度補正予算 (11件)			
22	一般会計 補正額：5億120万円↑ 補正後額：233億8,631万円	◎	各 ◎
23	国民健康保険 [事業勘定] 補正額：5,207万円↑ 補正後額 62億341万円 [直診勘定(白河診療所)] 補正額：1,271万円↓ 補正後額 1億6,086万円	◎	文 ◎
24	後期高齢者医療保険 補正額：609万円↑ 補正後額 3億8,316万円	◎	文 ◎
25	下水道 補正額：7,560万円↓ 補正後額：17億3,950万円	◎	産 ◎
26	農業集落排水 補正額：4,899万円↓ 補正後額 3億6,064万円	◎	産 ◎
27	戸別浄化槽 補正額：1,203万円↓ 補正後額 6,261万円	◎	産 ◎
28	介護保険 [事業勘定] 補正額：1,833万円↑ 補正後額：29億1,704万円	◎	文 ◎
29	病院 補正額：5,000万円↑ 補正後額：2億5,966万円	◎	文 ◎
30	水道 補正額：11万円↑ 補正後額：7億4,448万円	◎	産 ◎
46	一般会計(追加) 補正額：7億9,995万円 補正後額：241億8,626万円	◎	— —
47	病院(追加) [資本的支出] 補正額：300万円 補正後額：1,989万円	◎	— —
■ 25年度当初予算 (10件)			
31	一般会計	◎	予 ◎
32	国民健康保険(事業、直診勘定)	◎	予 ◎
33	後期高齢者医療保険	◎	予 ◎
34	下水道	◎	予 ◎
35	農業集落排水	◎	予 ◎
36	戸別浄化槽	◎	予 ◎
37	霊園	◎	予 ◎
38	介護保険(事業・サービス勘定)	◎	予 ◎
39	病院	◎	予 ◎
40	水道	◎	予 ◎
■ その他 (5件)			
41	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会設置に関する協議について ～茨城消防救急無線・指令センター運営協議会を設置するため～	◎	総 ◎
42	公の施設の広域利用に関する協議について ～対象施設の一部に変更が生じたため、協定を定める～	◎	総 ◎
43	工事請負契約の締結 ～(仮称)小美玉市「空の駅・加工施設」建築工事～	○	産 ◎
44	市道路線の認定 ～市道玉5333号線、市道小21115号線～	◎	産 ◎
45	市道路線の変更 ～市道小20261号線～	◎	産 ◎
■ 議員発議 (1件)			
1	小美玉市議会委員会条例の一部を改正する条例 ～市執行部の機構改革に伴い、常任委員会の所管について改正するもの～	◎	— —

審議結果の表記・見方? : : : 「審査委員会」総・総務、文・文教福祉、産・産業建設、予・予算特別委員会、各・各所管委員会。「賛」◎、「否」○、「全会一致で可決(また同意・採択)」◎、「賛成多数で可決」◎、「賛成少数で否決」○、「賛成少数で否決」○

3月定例会

■討論（反対討論） 福島議員

議案12号、第13号、第43号の（仮称）「空の駅」関連議案について

市は「空の駅」を当面直営で運営すると言っているが、どのように運営するのか内容が見えてこない。そのような中にありながら、施設の使用料（加算使用料）が定められている。これでは、チャレンジャーとして努力している市民が心配するのは当然である。

空の駅は、毎日お客様に来ていただかなくてはならないので、内容が大事。稼働率は、使い勝手が悪くはよくならず、営業時間、敷地内のトイレの設置数や夜間自由に使用できるかにより影響が出てくると思われる、問題がある。これだけの敷地の中にトイレが1箇所というのは、あまりに子供や障がいのある人など全てのお客様に対し配慮が足りない。市民の声が届いているのか。

そして、26年2月にオープンとしているが、工期、また工事費（約11億円）は、ほとんどが合併特別債で賄われる。現在の市の負債やその利息は市民には払いきれぬものでは

なく、国が必ず肩代わりをしてくれる保証もない。

私は（仮称）空の駅の全てを反対するものではないが失敗は許されないので、しっかりとした方策が示されない限り認めるわけにはいかない。その意味において、議案第12号、第13号、そして第43号に対し、反対する。

3月定例会日程

日程	会議等の主な内容	傍聴
4日	本会議 開会、施政方針、議案上程	2名
6日	本会議 一般質問	16名
7日	本会議 一般質問、議案質疑	5名
8日	予算特別委員会	-
11日	予算特別委員会	-
13日	総務常任委員会	-
14日	文教福祉常任委員会	-
15日	産業建設常任委員会	-
18日	議員提案条例等調査特別委員会	-
19日	新市建設計画推進特別委員会・ 行財政改革特別委員会合同委員会	-
22日	広報特別委員会	-
25日	議会運営委員会 全員協議会 本会議 委員長審査報告 採決、討論、閉会	2名

一般質問

市民の声を市政に

平成25年第1回定例会で行われた一般質問では、8人の議員が市政に関する質問や提言を行いました。全文は議会ホームページまたは市内の各図書館に設置する会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は6月ごろに発行の予定です。



- ◇ 福島 ヤヨヒ (10 ページ)
- ◇ 山本 信子 (11 ページ)
- ◇ 谷仲 和雄 (12 ページ)
- ◇ 長島 幸男 (13 ページ)
- ◇ 小川 賢治 (14 ページ)
- ◇ 中根 要樹 (15 ページ)
- ◇ 関口 輝門 (16 ページ)
- ◇ 戸田 見成 (17 ページ)

(※一般質問は、次ページから)

討論?・・・議題となつていながら採決される前に、議員がそのことに対して賛成または反対の立場にたつて演説をすることをいう。

高齢者も安心して住み続けられる市に

社会福祉協議会とともに環境整備を図る



福島 ヤヨヒ

マルチハザード?・・・国家または社会をとりまく危機的要因が多様化している状況及び時代の背景を意味する概念。例えば、自然災害(地震、風水害)や、大事故、犯罪、感染症、食品の安全への不安等々。

Q 元気で長生きは誰もが願うことですが、医療費が増大してる。中でも高額医療の増大はやがては負担増にもつながってくる。高齢者の皆さんが健康で過ごせる施策と支える市民ボランティアを育てる施策について伺う。

A 保健福祉部長 市の65歳以上の一人暮らしの高齢者は現在666人ですが、地域全体で支え見守ることが重要と考えている。健康増進や引きこもり予防などを

目的にした給食会や配食サービス、生活習慣病予防対策を含めた各種健康診査や健康教室相談なども行っている。また、介護認定を受けていない方を対象とした健やかシニア事業や、いきいきシニア事業にも取り組んでいる。支えるボランティアも現在35団体、625人に登録いただいているが、皆さまに安心して活動していただけるよう環境の整備を社会福祉協議会とともに進めていきたい。

Q 羽鳥保育所の民設民営化はどのように進んだのか。

A 保健福祉部長 「移管先事業者選定委員会」で選定基準に基づき審査を行い決定した。引き継ぎ期間を設け、子どもや保護者と移管先保育園との信頼関係を築いていきたい。職員への対応も意思を尊重し、正規職員については他の部署との調整を図るとともに、臨時職員については移管先法人とも十分協議していく。

Q 危機管理について、新たに設置された危機管理室の役割と、新見舞金制度とは。

A 副市長 新たに防災管理課を設け、「安心・安全なまちづくり」実現のため、さまざまな調査研究をしながら風水害、地質災害、人為的災害など「マルチハザード」に対して積極的に対応していきたい。

Q 「空の駅」について、オープンが26年2月となっているが間に合うのか。チャレンジャーに対しての取り組みは。

A 産業経済部長 建設工事については2月7日仮契約を済ませた。今議会で各管理条例が決定すれば使用者の募集を行い、チャレンジャーについても食のワークショップや十分な支援策を行う。ハードソフト面ともにオープンに向け進めていくのでご支援をお願いしたい。

新見舞金制度は、「被災者生活再建支援法」「災害弔慰金条例」の適用を受けない災害の被災者に弔慰金や見舞金を送るもので、平成25年度から実施する。

A 市長 間に合わせたいのでぜひご協力とご理解をお願いしたい。



90歳以上の食事会「サロン・ド・みのり」(コーラスのボランティア)

災害に強いまちづくりの進捗状況は

備蓄倉庫、戸別受信機など着実に整備していく



山本 信子

里の各総合支所の3箇所の防災倉庫に、災害時に必要な物資等の整備を進めているので、指定避難場所や小・中学校の体育館などを含む35施設への整備は、まだ行っていない。今後は、12小学校区中7小学校区にあるコミュニティ組



建設用地取得に時間が要したが、昨年11月に不動産登記が完了したので、7月末までに工事を完了する予定。
A 市民生活部長 ①用地取得に時間が要したが、昨年11月に不動産登記が完了したので、7月末までに工事を完了する予定。
 ②現在、本庁、小川・玉

Q 震災後、いろいろな教訓をもとに災害に強いまちづくりを進めているが、①本庁舎に隣接する防災倉庫の完成時期は。②指定避難場所や小・中学校等への備蓄倉庫の整備計画は。③防災行政無線の戸別受信機の整備は順調か伺う。

A 市民生活部長 ①用地取得に時間が要したが、昨年11月に不動産登記が完了したので、7月末までに工事を完了する予定。

織を中心防災訓練や資機材の整備を検討していきたい。
Q 戸別受信機の納品が遅れているが、現在9,000台のうち6,000台が納品され、2月20日現在の設置台数は1,097台(約12%)となっている。しかし、予想以上に家屋内での受信状況が悪く、広範囲において屋外アンテナが必要となり、現在必要本数の調査をしながら、設置にあたっている。

Q 保健福祉行政について、①マル福対象年齢の拡充の考えは。②3種ワクチン(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌)の定期接種に伴う本市の計画は。③ピロリ菌の除菌が保険適用になるが、市の健康診断時への検査項目とする考えはあるか伺う。

A 保健福祉部長 ①25年4月からの実施を含めると、県内44市町村中、小学校卒業までの実施が37自治体、このうち中学校卒業までの実施が26自治体となる。本市も、少子化対策の一環として、子育てを行う世帯の負担軽減となるマル福対象年齢拡大の制度化については、前向きに対応していきたいと考えている。

A 市長 ①中学校卒業までを基本として早急に制度化に向けて取り組んでいきたい。

A 保健福祉部長 ②3種ワクチン定期予防接種化に向け、これまでの1割自己負担を25年度以降は、全額公費で負担する予定。また接種者数は、子宮頸がんは延べ810人、ヒブワクチンは1,720人、小児用肺炎球菌は1,966人を見込んでいる。

③胃がん検診の実施指針には位置付けられていないので、引き続き国の動向を注視する。

Q 大災害時に備え、防災ボランティアリーダーの育成が急務と考えるが。

A 市民生活部長 社会福祉協議会では、災害ボランティア養成講座を2回実施し、70名が受講している。

今後も社会福祉協議会をはじめ関係機関と連携を図りながらリーダー養成を行うなど、災害時体制強化に努めていく。

*このほか、「子ども防災サミット開催」などの質問がありました。

ヒブ?・・・インフルエンザ菌b型の略称で、肺炎・敗血症・喉頭蓋炎・細菌性髄膜炎(ヒブ髄膜炎)などさまざまな感染症を引き起こす。特に髄膜炎は、約5%が死亡し、約25%に重い後遺症が残ってしまう。

バランスシートの分析評価と今後の活用は

概ね平均的、財政計画の指針とする



谷 仲 和 雄

バランスシート?・・・一定時点における企業の財産状態を示す一覧表のこと。貸借対照表ともいう。一定期間内に発生した取引の資産や負債の残高、損益が確認できる。

Q 単式簿記の公会計に複式簿記の手法を取り入れたことで、フロー（一年間のお金の流れ）とストック（資産と負債）の両面から本市の財務状態が把握できる。会計データの分析は財政計画を立てるにあたり重要であるとの観点から、平成23年度決算におけるバランスシート（貸借対照表）の分析・評価と今後の活用について伺う。

A 市長公室長 現在、本市では、県内の9自治体が採用している基準モデルを使った分析方法をとっており、①「住民1人当たりの資産額」は普通会計が110万円、県内9自治体平均（以下、県内平均と表す。）の約160万円と比べ、本市はやや少な目となる。これは非金融資産の評価額を厳しく見たためと思われる。連結会計では189万円で、県内平均が226万円。また、②「住民1人当たりの負債額」では、本市の普通会計が41万円で、県内平均は35万円となり、本市はやや多い。連結会計では80万円となるが、県内平均は73万円となる。また、③過去の世代が負担してきた割合を

求める「社会資本形成の世代間比率」では、普通会計では71・3%となり、県内平均が81・5%なので、本市は将来の世代の負担がやや多い。連結会計では、64・4%、県内の平均は68%となっている。

この結果から、県内基準モデル採用9自治体の平均値と比較して大差なく、本市のバランスシートは平均的な数値を示している。

将来の資産や負債等を適正なレベルにおさえることができるよう、バランスシートを健全財政の指針として有効活用していきたい。

○バランスシートの作成方法は、「総務省改訂モデル」と「基準モデル」があり、各自治体において統一されておらず、評価の面で難しいと認識するが、今後も財政計画の指針にしっかりと活用していきたい。

Q 職員が積極的に施策提案できる機会は、市民サービスの向上につながると思うが、現在の「職員提案制度」の概要と実績及び改善点は。

A 市長公室長 本制度は、行財政改革大綱に基づき、職員が積極的に市政運営に関する意見を提案できる機会を設け、斬新な政策の実現や事務事業を行うことにより、市民サービスの向上、市の活性化及び行政事務の効率化を図ることを目的にしている。提案件数は平成21年からの4年間で37件あった。そのうち採用は6件となっている。

現在、提案制度の推進月間を設けているが、全体的に提案数が少ないため、より提案しやすい環境や職員の意識改革を促し、職員による政策立案、調整能力の向上を図り、この制度の目的である市民サービスの向上という成果につなげていきたい。



職員提案により作成された「企業広告入り封筒」を使用（市民課窓口にて）

高齢者の避難所として福祉施設と協定締結を

関係機関と調整進める



長島 幸男

福祉避難所?・・・高齢者や障がい者、妊婦ら災害時に援護が必要な人たち(要援護者)に配慮した市町村指定の避難所。耐震やバリアフリーの構造を備え、介助員を置くことなどが条件で、老人ホームや障害者療護施設が多い。

Q 市と管内の老人福祉施設が、高齢者向けの福祉避難所としての災害協定を締結できないか。施設の設備や職員の専門的な知識を生かし、高齢者や障がい者の第二次避難所として協力がいただければ、安心して避難できる場所だと思える。

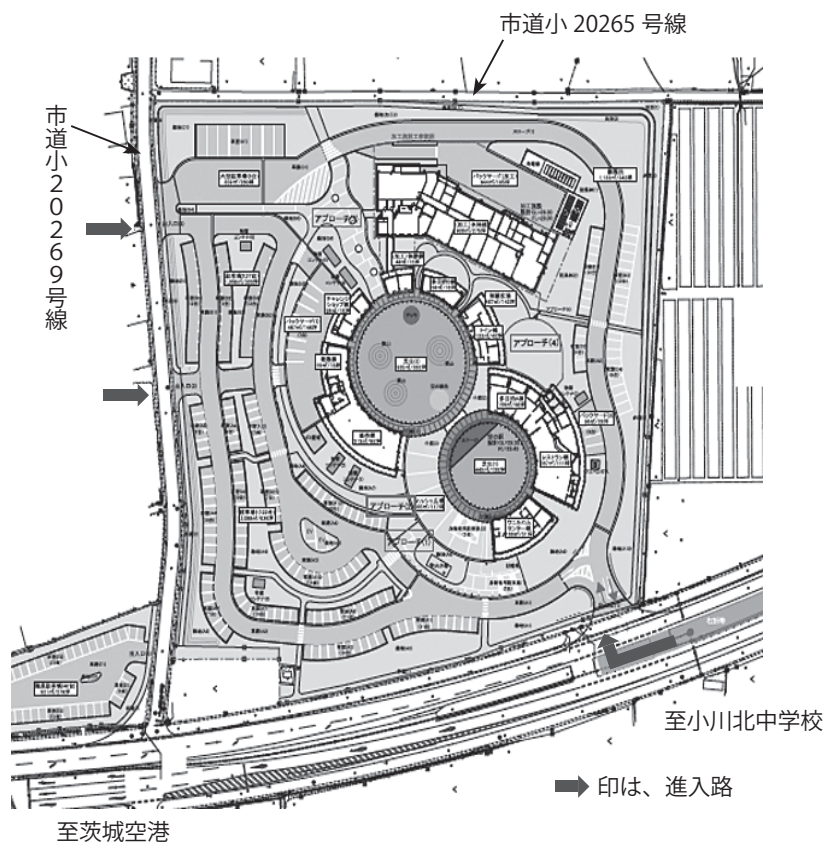
A 市民生活部長 県保健福祉部災害対策マニュアルでも災害時の対応に、一般の避難所で福祉避難所の対象となる者があり、福祉避難所の開設が必要と判断する場合は、福祉事務所を開設し、要援護者を避難させるよう福祉避難所の指定を促進している。

本市でも、今回の地域防災計画の見直しで、二次避難所(福祉避難所)の開設等について記述し、関係機関と調整を進めていく。

Q 「空の駅」整備事業と周辺の道路整備は一体化して計画しているか。

A 産業経済部長 「空の駅」は、市の総合計画において空の交流エリア及び空のゲートウェイエリアの整備の一環として位置づけ、周

【「空の駅」全体計画図】



辺道路計画はエリア内をつなぐ重要な要素であることから、計画的に整備を進めている。特に、空の駅周辺は地元から、南側の市道小20265号線改良についての要望があり、建設課と調整を図っていききたいと考えている。

また、空の駅への出入り口については、県道茨城空港線からの出入り口が1箇所、市道小20269号線からの出入り口が2カ所あり、茨城県公安委員会との交差点協議により、小川北中学校方面からの車は右折ラインを設けること、空の駅から出るときは左折のみとすることで、安全な車両の通行を最優先に考慮している。

*このほか、「中学卒業までの医療費の無料化について」の質問がありました。

県道上吉影岩間線バイパスの未整備区間の早期事業化を

県に対し、粘り強く要望を続ける



小川 賢治

Q 早期整備が望まれる常磐道岩間インターに通じる小美玉市納場地内から張星地内の羽鳥宿張星線までの県道上吉影岩間線バイパス2.1kmの未整備区間について、今後の整備の見通しを伺う。

A 都市建設部長 ①県は、「今後の空港利用者の動向や周辺道路の交通量の推移、当地域の開発状況の進展などを十分に考慮し検討する」としている。しかし、県道などの幹線道路は災害時の緊急輸送路及び避難路として重要な役割を



県道上吉影岩間線バイパス

A 市民生活部長 基本的に空き家等の管理は所有者等が行うべきものであるが、老朽化し危険な建物を放置すれば、市民の安全・安心な生活を脅かす。建築基準法で著しく危険な建物は撤去命令できるが、実際に管理不全の状態にならないと強制力をもった対応ができない。現実問題として、現行法の枠組み内での行政指導には自ずと限界があるので、今後は、本市にあった実効性のある空き家条例の制定を検討していきたい。

Q 空き家の適正管理に関する条例を制定する考えはあるか。

A 市長 有利な補助金の活用や県の支援対象路線の指定なども考えながら、引き続き県に対しても要望を続ける。

担うこと、また土地利用の多様化を促進し地域活性化の礎となるなど重要な社会基盤であり、茨城空港の利便性の向上、更には「空の駅」へのアクセスのひとつになることから、今後も粘り強く早期事業化の要望を続けるとともに、県への協力体制を築いて行かなければならないと考えている。

A 教育次長 平成27年度の耐震化率90%を目指し、学校施設環境改善交付金事業の前倒しを行い、小川小学校と納場小学校の校舎、野田小学校体育館の耐震補強工事と、竹原小学校校舎の改築工事に着手している。今後は、早期の100%達成に努める。また、統合については、幼児教育は地域と密着した環境で進めることが望ましいが、確実に少子化が進んでいる。市内の各地域間で教育格差が生じないよう整備を図りながら、統合も視野に入れ、幼児教育審議会や幼児施設設置協議会などの関係機関と協議を図りながら検討していきたいと考えている。

Q 小・中学校、幼稚園の耐震化の進捗状況は。また、老朽化している美野里地区の4つの幼稚園を統合する考えはあるか。



放置されている空き家

低迷する農業を打破する施策は

関係機関と連携を図り、各種施策を展開



中根 要樹

Q 本市の基幹産業である農業は、全般に年々衰退しているのは事実である。後継者不足、耕作放棄地、TPP等の問題が山積しており、低迷する農業を打破するためには思い切った予算確保のうえ、施策を実行すべきであると考えるが。

A 産業経済部長 平成24年度までに市が単独で実施した主な事業は、新規作物振興対策事業のブルー



上小岩戸地区県営畑地帯総合整備事業

ベリー等の作付け振興策があり、県の補助を活用した主な事業では、上小岩戸地区県営畑地帯総合整備事業、農地・水保全管理支払交付金事業、農業体質強化基盤整備促進事業、農業用施設災害復旧事業などがある。このほかにも、農業者戸別補償補助事業、石岡台土地改良区への水利施設維持管理事業補助、畜産業・水産業・林業への振興補助事業を行っている。

Q 農業後継者不足や耕作放棄地の問題について、市で実態調査を行ったことがあれば、その結果と市の対応は。

A 産業経済部長 この問題については、これから調査を進めていきたいと思っている。

農業の発展を図るためには、県や関係団体と連携し、就農相談や啓発活動を実施しながら、将来の農業担い手の育成を図っていく。また、各種助成事業を通してきめ細かい支援を行っていきたい。

○今後の農業施策をたてるうえで、大きな要因となっているこの2つの調査を早急に行い、農業振興対策を最優先でお願いしたい。

Q 「空の駅」への進入道路及び周辺道路の整備の進捗状況は。

A 産業経済部長 メインの入り口は、県道茨城空港線からの1箇所を計画。空港への上り線（北中学校から施設へ入る場合）からの当該施設への進入については県道茨城空港線の中央分離帯を一部交差点改良し、右折レーン（右折帯）を整備する計画となっている。さらに、空港からの下り線からの進入については大型車両に限り、メイン入り口からを予定している。

小型車両については、周辺の市道を利用できるので、市道小20269号線にある2箇所の入り口を予定している。

○進入道路については、利用者の利便性を重視し、一方通行を解消し、また周辺道路を早急に整備することを要望する。

畑地帯総合整備事業?・・・畑地帯にかんがい排水、農道、客土、暗きよ排水、農用地造成、区画整理、農地保全、営農用水、交換分合、営農施設の撤去及び移転、農業近代化施設等用地整備の各種土地改良事業を総合的に行う事業。



関口輝門

本市の少子化対策の将来像は

地域全体で支える体制づくりを進める

Q 少子化対策について伺う。総合計画に掲げる施策目標の達成度合いと、補助・助成等の支援策にはどのようなものがあるのか。また、本市の少子化対策推進の将来像の考え方を問う。

A 保健福祉部長 ①「保育所待機児童数ゼロ」については、受入れ枠の拡充を図り、年度当初における待機児童はゼロとなっている。②「子育て応援企業登録制度」については目標を上回る56社となった。③「放課後児童クラブ」の各小学校区での開設を目指すものは、19年度には4箇所を開設し、その後、利用者の少ない玉里東小を玉里小と合同で運営し、12学校11箇所で開催運営をしている。④「出会いの場の創出」については、市結婚相談員や結婚相談員連絡会の活動を支援しながら、石岡地方結婚相談所との連携を強化するなど、子育て支援と一体となった少子化対策を積極的に推進し、累計11組の婚姻が成立している。今後、地域や企業、団体と連携し、前向きに結婚や子育てができる社会づくりに取り組んでいく。

【少子化対策の補助・助成等の支援策】

施策	平成24年度予算
①保育サービスの充実	1億8,078万円
・民間保育所の増改修、保育時間の拡大、特定保育、病後児保育、障がい児保育のなどの充実など ・多子世帯への保育に対する経済的負担感の軽減（補助事業）の実施など	
②子育て環境の充実	1億6,636万円
・身近な保育所や公共施設、児童館等を利用して子育て中の親子が気軽に集える場を提供し、地域に根ざした子育て力の向上など ・福祉と教育の連携による子どもの居場所づくり（子ども放課後プラン）など	
③多様な子育て支援の充実	10億1,284万円
・子どもを養育している方への手当支給 ・経済的負担の大きい不妊治療に対する補助など	
④出会いの場の創出	96万円
・結婚相談員による相談、配偶者斡旋など ・出会いの場づくり（石岡地方結婚相談所と連携）	

A 市長 少子化の背景にある様々な問題を問い直すことが必要で、何よりも次代を担う子どもを生み育てやすい社会をつくることが重要と考えている。地域全体で子育てを支える体制や、結婚子育てを前向きに考えることができる環境、仕事と家庭の両立を実現することができる整備を取り組んでいきたい。



○結婚相談員等の活動に頼るだけでなく、全市を挙げてこの少子化対策に取り組むことを要望する。

Q 市総合計画における高齢福祉の現況と将来像は。

A 保健福祉部長 現在、本市の高齢化率は22・6%で、超高齢社会となっている。また、今後も高齢者人口の増加が予測されるので、高齢者が可能な限り自立した生活が送れるよう支援する高齢福祉サービスと介護保険サービスなどの確保を図るとともに、地域包括支援センターを中心とした介護予防活動や包括的支援事業を推進する。また、住み慣れた地域でより充実した介護サービスを受けるための地域密着型サービス事業所や介護老人福祉施設の整備に努めていく。



戸田 見成

A 市長 これまでの8年間は小美玉市の一体化に向け、「人が輝く水と緑の交流都市」を目指し、前期基本計画に基づき事務事業を実施してきた。この間には茨城空港の開港、石岡小美玉スマートインターができて、また、東日本大震災があり、人や物の流れ、更には人の心にも大きな影響を及ぼす変化

合併して8年目を迎え、市長の意欲のほどは

総合計画後期基本計画の重要施策の実現を図る



平成25年度の施政方針を述べる島田市長

Q 合併して8年目を迎え、総合計画（後期基本計画）が答申されたが、これからの小美玉市がどうあるべきか。また、それとは別に、市長自身の考え、意欲を伺う。

があった。

私も震災を経験し、安心して生活できる環境を整えること、そして人と人とのつながりの大切さを改めて感じ、施政方針でも申し上げたとおり、私の思いを3つのテーマとし、地域内の交流の深化を目指す「みんな仲良し、あいさつのまち」、市内外との交流の活性化を目指す「出会いのまち」、安全で安心できる環境を目指す「誰もが安心して暮らせるまち」を後期基本計画の重要施策へ反映させている。この多くの思いをしつかりと受け止め実現させるため事務事業が順調なスタートを切り、軌道に乗るよう努めていく。

平成25年度は、私の2期目の総仕上げの年であるので、この小美玉市がより魅力的なまちとなり「住んで良かった、住んでみたい小美玉市」になるよう努めていきたい。

Q 昨今、スポーツ界や教育現場での問題が多く報道されているが、本市の小・中学校ではどのような取り組みが行われているか。

A 教育長 本年2月に行った体罰の実態把握調査では、体罰と判

断できる事案は、小学校で2件、中学校で5件あった。いずれも授業中や部活動中にふざけていた児童生徒を注意する際のことでしたが、教員を厳重に注意し、市教育委員会で「行き過ぎた指導に関する研修会」を実施した。全ての教職員が行き過ぎた指導を行わないよう、指導の徹底を図っていきたい。

また、「いじめ問題」は、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に迅速に取り組むように指導をしており、各学校において定期的に調査を行うなど問題把握に努めている。本年11月末の調査では、115件のうち未解決は2件であった。幸い深刻な事態にいたっていないが、どんな小さなことでも認知し、表に出したうえで、早いうちから芽を摘んで対応をしつかりしていくことを繰り返すことでいじめ問題の根絶を図る。

*そのほか、「行政改革の中の補助金改革について」「復興交付金、復興交付税」などの質問がありました。

二元代表制?・・・住民が首長と議員を別々の直接選挙で選ぶ仕組み。両方が市民の代表であり、対等の立場でけん制・抑制と均衡の関係にあることが本来のあり方。

先進地に学ぶ

市議会全体研修視察報告

◆視察日：2月12日～13日

◆議員：村田・戸田・荒川・中村・木名瀬・市村・田村・関口・加藤・萩原・小川・藤井・福島・山本・岩本・中根・長島・谷仲

◆視察先・内容：

①会津若松市議会（福島県）

本市議会では議会基本条例の制定に向けて前向きに検討するため、二元代表制に実効性を持たせる先進事例として、平成21年に第4回マニフェスト大賞「最優秀成果賞」を、翌年の第5回でも「優秀議会改革賞」を受賞した会津若松市議会において研修を行った。

その中で、市民への議会報告会や意見交換会の手法や効果、議会側が政策形成に積極的にかかわっていく「政策形成サイクル」の構築、「議員間討議」、議決責任との関係、常任委員会の運営方法、討議結果のまとめ方、委員長報告の作成などの具体的ノウハウ、議長選挙で

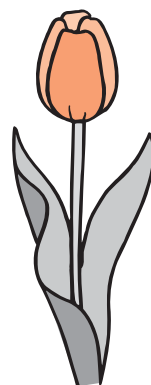


会津若松市議会議場にて

の所信表明会と政策形成プロセスなどについて、会津若松市議会の目黒議長より詳細な説明を受けた。質疑応答では、「議員間の自由討議」、「反問権の付与」、「議会としての合意形成の仕方」、「政治倫理条例と議会基本条例の関係」、「市

民との意見交換会及びそれに伴う執行部の対応」、「議会制度検討委員会」、「議員個人への能力向上の支援」、「議会改革に係る調査研究」、「研修等の推進」、「一般質問」、「正副議長選挙における所信表明」などに関して、研修時間を大はばに超過するほど熱心な研修ができた。

そのほか、道の駅うつのみや「ろまんちっく村」（栃木県）などで研修を行いました。



■一部事務組合、広域連合の報告■

●茨城県後期高齢者医療広域連合

25年度一般会計予算	8億7,821万円
25年度特別会計予算	2,792億9,811万円
小美玉市負担金（保険料含む）	7億4,946万円

●霞台厚生施設組合

25年度一般会計予算	5億8,570万円
小美玉市負担金	1億3,251万円

●茨城美野里環境組合

25年度一般会計予算	6億2,288万円
小美玉市負担金	2億2,390万円

●湖北環境衛生組合

25年度一般会計予算	6億5,079万円
小美玉市負担金	1億5,459万円

●茨城地方広域環境事務組合

25年度一般会計予算	2億4,930万円
小美玉市負担金	4,467万円

●石岡地方斎場組合

25年度一般会計予算	14億1,012万円
小美玉市負担金	4億9,512万円

●湖北水道企業団

25年度予算（収益的収入）	15億6,045万円
（収益的支出）	15億3,597万円

第27回プレゼントクイズ

*答えは議会広報 第29号の中にあります。

問題は3つです。答えを書いて、下記の応募方法によりお送りください。正解した方の中から抽選で10名の方に、森のレストラン“キャトルセゾン”(四季の里内)のお食事券1,000円分をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

問① 平成25年度当初予算の総額は〇〇〇億5,200万円?

問② 4月に開校した全寮制の女子サッカースクールの名称は「小美玉〇〇〇〇〇〇アカデミー」?

問③ 平成25年第2回定例会の開会日は6月〇日?

◇応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、住所・氏名・クイズの答えを明記してご応募ください。
また、議会や本紙に対するご意見やご感想を併せてお寄せください。

◇応募〆切

平成25年5月30日(木)まで *当日消印有効

◇応募先

〒319-0192 小美玉市堅倉835 “小美玉市役所 議会事務局”宛

FAX: 0299-48-1199 Eメール: gikai@city.omitama.lg.jp

☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用いたしません。

第26回クイズの当選者

18通のご応募をいただきました。
当選者は以下の方々です。

平	泉	美代子さん	松	島	昭さん
富	田	初江さん	秋	山	典子さん
茅	場	真理子さん	白	田	夕紀さん
島	田	浩和さん	郷	内	武さん
佐	藤	清子さん	笹	島	憲一さん

第26回クイズの正解

問① 平成24年第4回定例会の議案数は?

[答 → 9件]

問② 平成24年第4回定例会の一般質問者数は?

[答 → 10名]

問③ 次の平成25年第1回定例会の開会日は?

[答 → 3月4日]

皆さんから寄せられた声です

～クイズ応募者、傍聴者の方から寄せられた声を掲載しています～

- ▶ ぜひ、九州福岡便を空港会社にお問い合わせ下さい。1週間に1便でも良いです。利便が良いと思います。
(幡谷・女性)
- ▶ 小美玉市を代表する名物グルメやC級グルメに出場できる名物料理の開発を全国発信及びアピールしてほしい。要するに小美玉市の名物料理を作ろう。(西郷地・女性)
- ▶ 議会広報で目にとまったのは、今月の表紙「未来を担う子どもたち」でした。真剣な表情が頼もしく思いました。10年前、傍聴しました。子ども議会、続いているんですね。(羽鳥・男性)
- ▶ (北海道の視察報告を読んで)ここ最近、また地震が多発しています。小美玉市に住んでいてよかったと思えるようにしてほしいです。(羽刈・女性)
- ▶ 図面による説明の際には、パネル等により傍聴者にもわかるようにお願いしたい。
(傍聴者、美野里地区・男性)
- ▶ 議員の質問も幅広く、住民の現在、将来にわたる無理難題の内容ではなく、これから努力していけば実現に近くなるようなことで良いと思った。また、市担当者の回答、答弁の内容、声もよく、解りやすい。
(傍聴者、玉里地区・男性)
- ▶ 羽鳥保育所が民営になるとのことですが、園児達の環境が一度に変化しないよう、行政は民間に丸投げではなく、しっかり指導してほしい。(傍聴者、美野里地区・男性)

ご意見・ご感想をお待ちしています

◆ 次の定例会は6月6日（木）に開会予定です。ぜひ傍聴を！

定例会程 日	会議等の主な内容	傍聴	
		議場	モニター 中継
6月6日 (木)	本会議 (開会、議案説明)	可	有
11日 (火)	本会議（～12日） (一般質問、議案質疑)	可	有
13日 (木)	常任委員会（～17日）	要確認	無
18日 (火)	特別委員会（～19日）	要確認	無
21日 (金)	本会議 (報告、採決、閉会)	可	有

- * 議場は本庁舎3階にあります。議場内での傍聴には簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要です。
- * 本庁舎・各支所に設置するTVモニターでの同時放映は、自由にご覧いただけます（受付は不要）。
- * 委員会等の詳しい日程については、6月5日に開催する議会運営委員会で協議します（市議会ホームページ又は議会事務局までお問い合わせください）。

任期満了により、茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員に村田春男氏が再選されました。



(国道6号線沿いの桜並木)

編集後記

今年、3月上旬の季節外れの暖かさで、全国的に桜の開花が早まり、県内でも3月下旬ごろから多くの花見客が鮮やかな桜色を楽しんだと思います。

4月は年度初め、皆さまのご家族の中には、入学式、入社式、喜びと希望を胸にそれぞれの夢の実現に向かってスタートを切った方もいることと思います。

本市も平成25年度が始まり、3月定例会で一般会計予算219億7千万円（前年比7.2%増）が可決され、健全財政と安全安心なまちづくりを基本に更なる復興と経済成長を図るべく、公共投資を重点にした積極的予算編成が執行されました。

本年度の主な事業としては、「空の駅」整備事業がいよいよ開始され、来年春にはオープンが予定され、また広域幹線道路整備、玉里運動公園整備、大井戸湖岸公園整備、かしてつ跡地バス専用道路（小川駅周辺整備）、宮田防災公園整備、羽鳥駅周辺整備の測量設計、希望ヶ丘公園維持管理、防災無線の戸別受信機設置等、重要な事業が数多く予定されています。

議会は、住民が真に求めるものか、これらが総合的かつ計画的に予算化されるかをチェックする機関であります。市民の皆様の声や要望をどれだけ反映できるかが大きな仕事であります。今後とも、議会広報紙を通して、分かりやすく市民の皆様にお伝えします。

(長島)

発行編集責任者 議長 村田 春男
議会広報特別委員会

委員長 小川 賢治
副委員長 中根 要樹
委員 戸田 見成・関口 輝門
福島ヤヨヒ・長島 幸男
谷仲 和雄